

## 第1回幹部会開催される

去る平成25年3月18日に新たに選任されました新任役員におきまして、土地家屋調査士会館3階会議室において、平成25年度第1回幹部会が開催されました。出席者は、横山一夫会長、八瀬涉一、市川新太郎、加古幸平、森廣幸、阿部重雄各副会長、小沢宏幹事長、椎名勤、神寶敏夫、高野國範、永美一雄、野田清、池川晋一郎、松田圭市、大場英彦、佐々木健、瀧秀隆各副幹事長、福本正幸会計責任者、小栗敏昭会計責任者職務代行者でありました。

冒頭、横山会長は大会後初めての幹部会であり、大会において承認のなされた事業計画に則り推し進めていかなければならないが、幹部会等の会議の開催が限りある中での日程となるので、この中でできる限りの結果を出してほしい旨のお話しをされました。

さらに、日本土地家屋調査士会連合会（以下「連合会」という。）竹内八十二会長及び連合会の政治連盟担当であられます関根一三連合会副会長から御挨拶をいただき、この御挨拶の中で制度の問題として、政治連盟のお力による各種の御礼の旨、お話しいただきました。

この後、報告事項から協議事項に移り各種議論を行いました。  
報告事項及び協議事項につきましては、以下のとおりです。

# 第1回 全国土地家屋調査士政治連盟幹部会会議 議事録

日時 平成25年4月4日(木) 午前13時30分～午後5時00分

場所 土地家屋調査士会館 会議室

出席者 横山全調政連会長

市川・加古・森・阿部・八瀬各全調政連副会長

小沢幹事長 椎名・神寶・高野・永美・野田・池川・松田・大場・佐々木・

瀧各副幹事長

福本会計責任者・小栗会計責任者職務代行者

関根連合会副会長

挨拶

## 1. 横山会長挨拶

先日の第13回大会におきましては大変ご苦労さまでございました。その際いただきました要望等は、この後決定いたします委員会等においても検討を戴ければと思います。特に会員増強については大きな要望がございましたので、ご検討を戴きたいと考えております。

本全国土地家屋調査士政治連盟(以下「本連盟」という。)での会議は、本会のように幾度も開くことはできません。委員会においても同様でございます。この中である程度の結果を出すことはなかなか難しいとは思いますが、メール等を利用していただきながら前へ進めていただければと存じます。

本日は短い時間となりますが、中身の濃い会議となればと思います。よろしくお願い申し上げます。

## 2. 竹内八十二日本土地家屋調査士会連合会会長挨拶

皆様こんにちは。先日の大会において会費の値上げの議案について可決されましたことは、日本土地家屋調査士会連合会(以下「連合会」という。)といたしましても大変歓迎すべきところであると考えております。というのも、やはり現在の情勢及び今後情勢を考えますと政治の力がなければなすべきこともなされることができない、

この観点から行きますと本連盟がある程度の資産の中活発に運動していただかなければならないと考えるところからであります。連合会は、政治資金法に基づく政治活動はできません。従いましてこの点につきましてはやはり本連盟に大いに活躍していただかなければならないところであります。これは来年度の連合会の事業計画大綱にも一部触れさせていただいているところであります。これは法務省等の役所に対し意見を申し上げてもなかなか決定できない点があります。この点につきましても政治の必要性は、言うまでもありません。今後とも引き続きよろしくお願ひしたいと存じます。

### 3. 関根連合会副会長挨拶

皆様こんにちは。連合会副会長の関根でございます。連合会での本連盟担当とさせていただいている関係上、本日出席させていただきました。

さて、前年度指名参加の資格制度について、本連盟のお力を借りて行ってまいりました。今年度も引き続き行って行かなくてはなりません、総務省及び国土交通省から話があるのは「土地家屋調査士」としての資格制度がないことでの違反事例(測量会社等が単独に行っていて問題となっている案件)を示すよう申し付けられております。このような案件があれば、改正への方で進であらうと思われま。この問題については、連合会においてもせっかく本連盟のご協力をいただいたにもかかわらず力を発揮できないということにならないよう頑張っておりますので、本連盟の皆様にも引き続きお願ひしたいと考えております。

第2番目に環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)に関する問題です。昨年幹事長のお力添えをお借りし、国会議員の先生を通じ内閣官房の担当役員にお会いさせていただきこの問題についてお話しをさせていただきました。この時は、未だ参加するか否かについては決定いたしておりませんでした、先日の安倍総理から発表があったとおり「交渉には参加する。」とのこととなりました。この点につきましても今後の推移を推し量っていかねばなりません、本連盟のお力が大きく必要となろうかと思っておりますので、この点につきましても引き続きお願ひしていきたいと存じます。

第3番目に東日本大震災における地図の修正作業の発注がなされております。これらの発注につきまして中間払いをしていただくこととなりました。これらの功績は本連盟のお働きのおかげであることは間違いありません。まことにありがとうございました。

最後に、お願ひになると思いますが、公共作業発注における価格の低廉化についての問題となります。この問題

について連合会が考えている内容は、最低価格の設定をお願いしたいと言うところであります。今後具体的に詰めていかなければなりません、本問題についても本連盟のお力なしには前へ進めることはできません。是非ともこの問題について今後ともご協力をお願いしたいと存じます。

- 関根連合会副会長への質問 -

神寶副幹事長 先程価格の低廉化についてお話しがあったが、報酬基準額についてこれが撤廃されて以来価格についての問題が非常に大きくなっているが、何か連合会において方策を考えているか。

関根副会長 特に今は考えていないが、低価格による問題点を纏めたものを各単位会に送付させていただいている。これを参考にさせていただきたい。「安かろう、悪かろう。」とならないよう、指示していかなければならないものと考えている。

佐々木副幹事長 単位土地家屋調査士会及び単位政治連盟を通じ法務局及び地方法務局の地方移管の反対意見書を各都道府県議会から政府宛提出していただけるようお願いしているところであるが、このところ停滞しているように感じる。この原因で考えられるのが、各役所において止められていることが考えられるが、本来この内容は各議会から政府に対し要望書を提出するものであり、各役所の意向は考慮する必要はない。この点勘違いされている土地家屋調査士会があるように感じるので、この旨連合会からあらためて忠告をお願いしたい。

関根副会長 ご意見は承った。この問題は引き続き考慮していかなければならない問題である。

報告事項

1. 大会総括について

(ア) 第13回全国土地家屋調査士政治連盟大会総括について

横山会長から、本大会における役員の対応については特段問題なく適切な対応ができたものとするが、何か気づいたところがあればここで発言願いたい旨の話があった。

これに対し以下の意見の交換がなされた。

八瀬副会長 当職は、初期の大会から代議員として参加しているが、その頃から比べれば非常に良くなっているもの

と考えられる。

市川副会長 第5号議案の会費問題については、全員一致を目途としたが、なかなかそうはならなかった。これは、各単位政連でのある程度の温度差があるのではないかとと思われる。今後はこの点をも含めて丁寧に説明して行ければよいと考える。

加古副会長 政治連盟が必要であることは、全国会員のほとんどの方が理解されていると思われる。ただし、この熱意に関してはある程度温度差があることは否めない。今後はこの点をも理解を深めたい。

瀧副幹事長 中部ブロックにおいて会費値上げの問題については、もう少し議論になるものと思われた。こう思うのは、やはり説明が不足する部分があったのではないかと考えられる。今後はこのようなことの無いように丁寧な説明が必要ではないかと考える。

#### (イ) 大会後懇親会総括について

横山会長から、次のとおり意見がなされた。

昨年度及び今年度懇親会を開催させていただいて率直に感じたことは、やはり会場が手狭ではないかということである。また、ほんの一部であったが、各議員がお見えになった際、単位調政連の会長が帰ってしまい対応に不備が生じたことは残念であった。懇親会の席は、各議員を接待することが目的となるので、この点についてはさらに通知を行っていきたい。

## 2. 各委員会の事業方針の確認

委員会の各任務について以下のとおり説明がなされた。

### (ア) 総務委員会

運動方針に基づく事業執行計画の検討及び情報の伝達に関する事項

公職選挙法及び政治資金規正法に基づく財務管理に関する事項

政治資金規正法に基づく政治資金パーティに関する事項

その他の委員会の所属に属さない事項

### (イ) 制度対策委員会

- (1) 連合会との連携の強化及び情報の共有化に関する事項
  - (2) 公共嘱託業務の拡大に関する事項
  - (3) 各党の議員連盟及び各種団体との連携の強化に関する事項
  - (4) 国政選挙への対応に関する事項
- (9) 組織強化委員会
- (1) 会員増強活動の推進に関する事項
  - (2) 土地家屋調査士政治連盟との連携の強化及び情報の共有化に関する事項
  - (3) ブロック連絡協議会との情報の共有化に関する事項
  - (4) 広報活動に関する事項

## 協議事項

### 1. 第23回参議院議員通常選挙への対応について

標記選挙の件について以下のとおり説明がなされた。

1. 比例区（全国区）については、全国土地家屋調査士政治連盟が主となり推薦させていただく。既に前幹部会において決議のなされた参議院議員について推薦させていただいている。この議員については、各単位調政連の会員名簿をお願いしていきたいので、各副幹事長におかれてもこの旨周知願ひ、各単位調政連に対して発信願ひたい。本幹部会までに決定した比例区推薦候補者別紙（略）のとおり。
2. 各都道府県選挙区については、原則各単位調政連の意向に従い推薦を行いたい。推薦したい候補者がいる都道府県については、この旨全調政連事務局に対し報告願ひたい。推薦状は、全調政連会長名、各単位調政連会長名または両会長連盟の3種類を用意しておく。どの推薦状にするかは各単位調政連に委任するが、全調政連会長名、各単位調政連会長名の2枚出すことも可能である。各副幹事長におかれてもこの旨周知願ひ、各単位調政連に対して発信願ひたい。ただし、1人区についての複数推薦は原則認めないので、この点については十分注意願ひたい。

この結果、提案どおりとし、この旨通知各単位調政連に通知するものとした。

## 2. 今後の会議方針について

横山会長から各委員会の担当者に付き以下のとおりとする提案がなされた。

### 総務委員会

委員長 市川副会長

委員 永美, 松田, 大場 各副幹事長

### 制度対策委員会

委員長 阿部副会長

委員 椎名, 瀧, 神寶, 佐々木 各副幹事長

### 組織強化委員会

委員長 森副会長

委員 高野, 池川, 野田 各副幹事長

なお, 統括委員長に八瀬副会長, 会長補佐に加古副会長をお願いしたい。

また, 会長代理には八瀬副会長, 幹事長代理には椎名副幹事長をお願いしたいと考える。

この結果, 会長提案どおり各担当委員が決定した。この後, 各委員会において下記の議論を行い, 各委員会の日程等の調整を行い発表がなされた。

#### (ア) 総務委員会日程の件

本委員会の第1回会議の日程は, 6月18日午前10時30分からとする。テーマについては, 本年度の基本方針に基づき規則, 規程を見直していきたい旨市川委員長より説明がなされた。

#### (イ) 制度対策委員会日程の件

本委員会の第1回会議の日程は, 6月18日午後1時30分からとする。テーマについては, 昨年度の内容を引き継ぎながら制度の問題を考えていきたい, また, 政治連盟として成果を上げられるよう会議を進めていきたい旨, 阿部委員長より説明がなされた。

(ウ) 組織強化委員会日程の件

本委員会の第1回会議の日程は、6月18日午後2時30分からとする。テーマについては、会員増強につき各単位調政連がどのように進めていくことができるか考えていきたい旨、森委員長より説明がなされた。

この結果、上記(1)～(3)については提案どおりとすることとした。なお、各委員会の開催日である6月18日は、連合会の総会の第1日目であるため、会議終了後は、連合会への傍聴として参加させていただき、後の懇親会において政治家への接待を行うこととした。

また、八瀬統括委員長から、各委員が縦割りにならないよう委員長会議を開催したい旨提案がなされこれを了承した。委員長会議の日程については、6月14日午後1時30分からとし、参加者は八瀬統括委員長、市川総務委員長、阿部制度対策委員長及び森組織強化委員長とすることとした。

(イ) 常任幹部会開催予定日の件

大会議案どおり本年の常任幹部会の予定は、全6回とする。なお第2回目の常任幹部会の日程は、平成25年7月2日 午前9時30分開催とする旨提案がなされた。なお、八瀬、阿部、森各副会長におかれては前泊とすることとした。

この結果、提案どおり本日時にて第1回常任幹部会を開催することとした。

(オ) 幹部会開催予定日の件

大会議案どおり本年の幹部会の予定は、全4回とする。なお第2回目の幹部会の日程は、平成25年7月2日午後1時30分開催とする旨提案がなされた。

この結果、提案どおり本日時にて第2回幹部会を開催することとした。

3. その他について

(ア) 単位調政連名刺作成の件

大阪会から名刺の提案がありこれを検討した。

この結果、大会でも示させていただいたとおり各単位調政連の判断に任せることとした。ただし、この場合「政治連盟」であることがはっきりと理解できるようにすることとし、お願いしたい。



(イ) 千葉県土地家屋調査士政治連盟取り組みの件

椎名副幹事長より、千葉県土地家屋調査士政治連盟での取り組みチラシ（略）について説明があった。

この結果、制度対策委員会及び組織強化委員会において本年度の事業の参考とすることとした。

(ウ) 名誉役員選任の件

名誉役員については、議論が習熟していないので次期幹部会に提案することとした。

以上の議論を行い、午後 4 時 35 分に終了した。